常磐毎日
発行所
平市田町75
常磐毎日新聞社
営業部専用1210
編集部1269

呉服 御婚礼
京呉服 ふとん
寝具取揃え
服地
佐川呉服店
平市五丁目 電1486

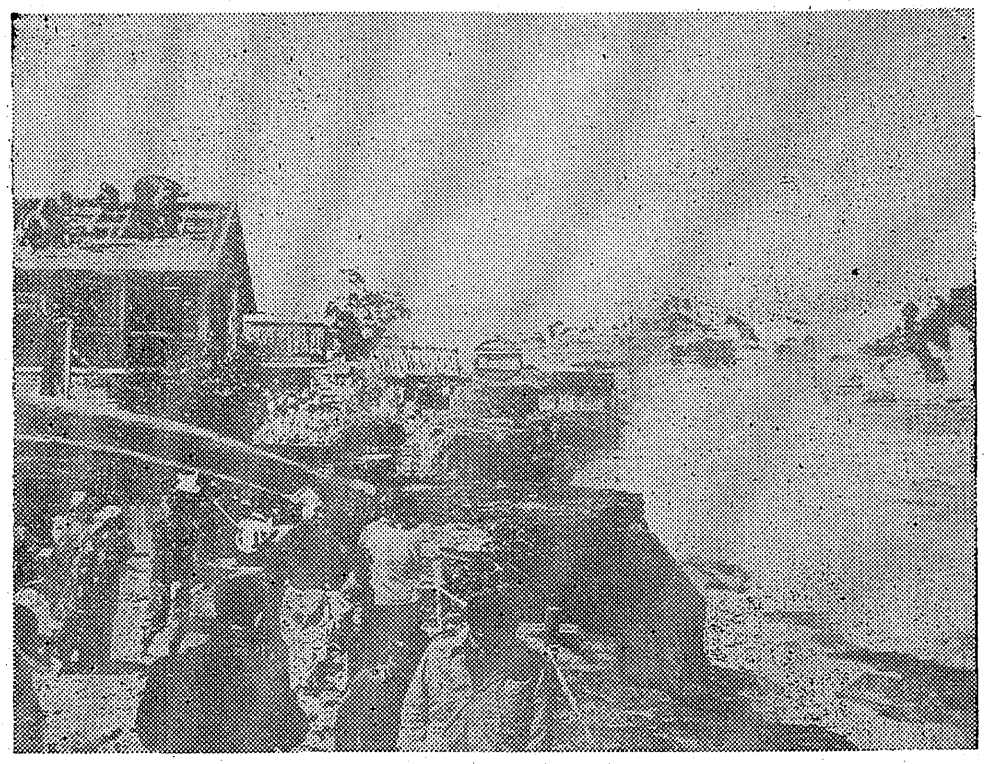
高潮の危機去らぬ久之浜

久ノ浜の高潮被害は十七日までに三十四戸、四十一世帯（百九十六人）に達し非住家三十一棟が流失解体した。防波堤三百八十米が決壊した南町地内では十六日夜から自衛隊員や消防団員など五百名が波しぶきを浴びながら必死の土のう築き（約一万俵）に当ったが、十七日早朝の高潮でこの土のうも大半が流出、決壊箇所は更に増大している。測候所の予報によると十九十人の緊急避難も検討しているが、現地指揮に当っている小野県土木部長は十九日の満潮時まではつぶされてもつぶされても土のうを築き、何としてでも被害をこれ以上増大しないように喰い止めると悲壮な面持ちで語っている。

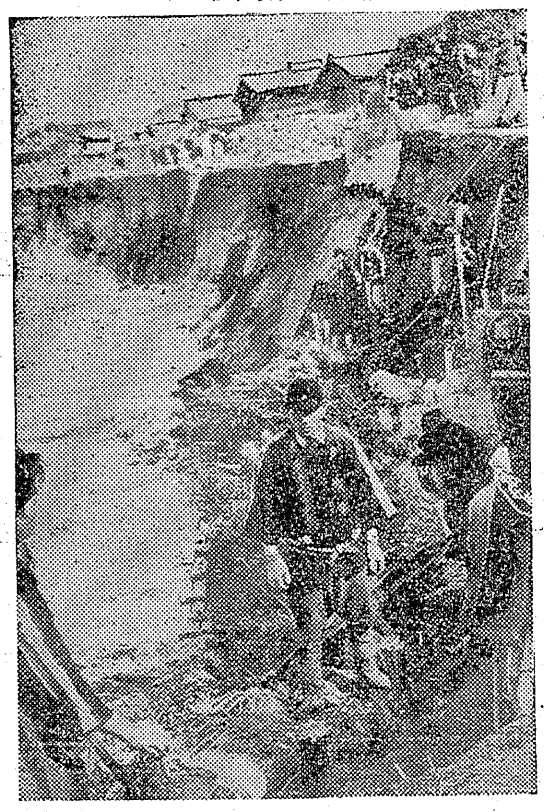
決死の防御も空しく
防波堤の崩壊広がる

十七日午後四時過ぎから満潮をむかえる夜にかけては休むひまもなくサイレンや半鐘が鳴り亘り、自衛隊や警察のジープがせわしく走り廻り町は無気味な恐怖につつまれている、町の対策本部ではすでに俵、カマス二万五千枚、くい一千五百本、青竹四千本、なわ八百本、麻袋四千百枚などを使い果したので、十七日更に二万俵の急送かたを郡山や群馬県に求めた。町議会では十六日夜緊急特別委員会を開いて対策を協議した結果、被災者のうち第一次調査の終った二十六世帯に対し、平均三万円合計六十四万五千円の救助金を十七日に支給した。

町当局の要請で出動した自衛隊員らは自家発電による照明灯やジープ三台の前照灯のほか十九カ所にかがり火をたき、ロープを体にしばりつけ不気味な地鳴れ続く絶壁で波しぶきを浴びながらくい打ち土のう積みを続けているが十七日朝にはこの土のうも大半たたきつぶされ、堤防崩壊箇所も更に広がっているなお十七日夜から小名浜海上保安部の巡視船「あさちどり」も応援に急航、海上から築堤現場の照明に一役かっている。



（上）打押せる高潮と家屋の解体（下）無惨な高潮のツメ跡



常磐礦けさ妥結
水素労は長期化す

総評と官公労を中心として春季斗争は炭労、国鉄など主力組合が妥結したのを皮切にこれと歩調を合せて斗争中の常炭礦もけさまり残すのは二十二日スト予定の磐炭労と二十日長期スト通告の日本水素労組だけとなり石城地方の賃金斗争は大詰に入った。

十八日一番方から全山無期限ストをかけて一月以降の新賃金ベアを要求した。常炭礦（三十二支部、一万九千名）と東部鉱業連盟の団交は十七日午後六時から行い、深夜交渉でもみぬいたが、労使ともあゆみよりけさ十八日午前六時三十分妥結した。このため一番方からの無期限ストは中止、中止指令の遅れた一部支部労組を除き平常作業につた。

二千十九円のベースアップを要求して十六日午後一時から二十四時間ストに入った日本水素労組では同日午後四時会社側から提示された千六百六十円案を不満として同四時同工場の火をとめた。このため同工場が平常作業に戻るまでには一週間から二週間の日時がかゝるため二十日からの第三波長期ストを前に事実上の無期限ストに突入、交渉は難航している。

落盤で死亡

十七日午前四時三十五分ごろ常磐炭礦長倉五坑で枠入作業中の採炭夫松本直衛さん（三五）は崩れ落ちた岩石の下敷となつて圧死した。

八十二名を表彰
平高等理容美容學院卒業式

平医師会附属平高等理容美容学院の卒業式はきょう十八日午後一時から平市向学院で行い、席上成績優良者田中トリさんなど八十二名を表彰した。表彰者次の通り。

◇理容科 ▽平医師会長賞＝田中トリ▽優等賞＝田中トリ、馬場幸子、鈴木厚子、林重子、遠藤紀美子、大谷朋子▽努力賞＝増洲喜代美、黒田トミ子、三浦秀夫、安藤栄子、林秋友、宮内処男、半谷節江、新妻和子、関洋子、四家チエ子、島型聖子▽精勤賞＝大谷朋子外三十八名

◇美容科 ▽平医師会長賞＝杉本幸枝▽優等賞＝杉本幸枝、遠藤礼子 宗像アキ子 林フミ▽努力賞＝小沢和子 高橋鈿子 須藤一子 佐藤ケイ子 砂部能布子 鈴木茂男 ▽精勤賞＝瀬尾裕子外十六名

また平医師会附属平准看護婦学校の卒業式も十五日行い次の通り表彰した。

▽平医師会々長賞＝大方イネ ▽優等賞＝大方イネ、鈴木雪子、合津富士子▽努力賞＝大谷千代美 菅野良子 大平春美 橋本ツル代子 五十嵐辰子▽精勤賞＝五十嵐辰子外十二名

竜燈殿中に
郡山市長賞

県観光土産品コンクールは十五日から三日間郡山市で開催されたが出品三百八十五点のうち菓子の部で平市田町松月堂の「龍燈殿中」が見事入賞、郡山市長賞を獲得。

女子解版員(二名)募集

一、年令 十七才―二十才まで
一、平市内居住者
希望者は履歴書持参のこと

常磐毎日新聞社
平市田町 電一二一〇・一二六九

阿部君らぜひ入賞
石城地区珠算競技会

平商工会議所主催の第二回石城地区珠算競技大会はきのう十七日午前九時から平商校に双葉、石城の代表者が集まって開かれた。成績は次の通り。

「読上暗算」◆高校一般＝①阿部紀久雄（平商）②熊田ミキ子（〃）③熊上ハツ子（平商）小沢磨志男（〃）坂内清俊（〃）◆中学校＝①鈴木紀美枝（湯本二中）②菊地猛（内郷一中）山崎武夫（〃）③本多慶昭（内郷一中）根本モリ（平一中）星克二（内郷二中）◆小学校＝①方波見菊江（内町小）②水竹美智代（高坂小）小磯健二（小名一小）③蛭内光俊（植田小）大和田泰子（川平小）須藤スミ子（緑小）

「読上算」◆高校一般＝①鈴木康彦（川井珠算）②阿部紀久雄（平商）馬上初子（〃）③上津一清（平商）阿相辰三郎（〃）吉田恵（〃）◆中学校＝①増山宏明（内郷二中）②水野谷光子（内郷二中）渡辺和衛（草野中）③小磯要一（小名二中）松本公徳（内郷一中）国井百合子（平一中）◆小学校＝大和田泰子（川平小）②吉日栄子（小名一小）③鈴木昇（平三小）蛭田光俊（植田小）田辺利子（小名一小）

「総合」◆高校一般＝①加藤恒子（平商）②熊田道子（〃）小菅和夫（高陽）③吉田恵（平商）馬上初子（〃）阿部紀久雄（〃）◆中学校＝①川井利彦（内郷一中）②菅野利雄（内郷二中）水野谷光子（〃）③崔英夫（小名二中）星克二（内郷二中）増山宏明（〃）◆小学校＝①仲絵圭子（緑小）②遠藤洋子（内町小）西巻利巳（高坂小）③石川寛（植田小）蛭田光俊（〃）高橋文子（内町小）

◆高校一般＝①平商B②平商F、高陽A③川井珠算研究所、平商G、高陽B◆中学校＝①内郷二中A②内郷二中B、同C③小名浜二中、内郷一中A、同C◆小学校＝①内郷小C②緑小A、植田小A③小名浜A、高坂小A 川平小A

自動車修理工員募集
▽採用人員 数名
▽経験年数 自動車修理五年以上
▽舊平市内又は附近居住者で自転車通勤可能の方
御希望の方は履歴書に写真を添へて本月二十五日迄に当所に御出下さい 詮衡日その後に御知らせいたします
平市材木町 電一二一〇
福島トヨタ自動車 平営業所

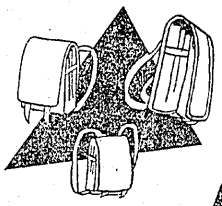
不動産売買・仲介鑑定貸家斡旋
福島県知事公認取引所
平宅地建物取引所
平市才槻小路踏切際 色川材木店内 電三六一番

厚生医療指定病院
財団法人 竹林病院
本院 平市十五丁目十三番地 電話六〇八・八一一番
分病棟 平市小太郎町十三番地 電話一一七四番

ラジオ 月賦 御報参上
洗濯機 酒井無線 平市五丁目 電一九九〇

御入学、御進学、御卒業のお祝には是非當店の
机・本箱・本立
伊東家具店
平市新川町 電四六四 工場 平市大町

ライカ certo 代理店 袋屋本店 電話五一六

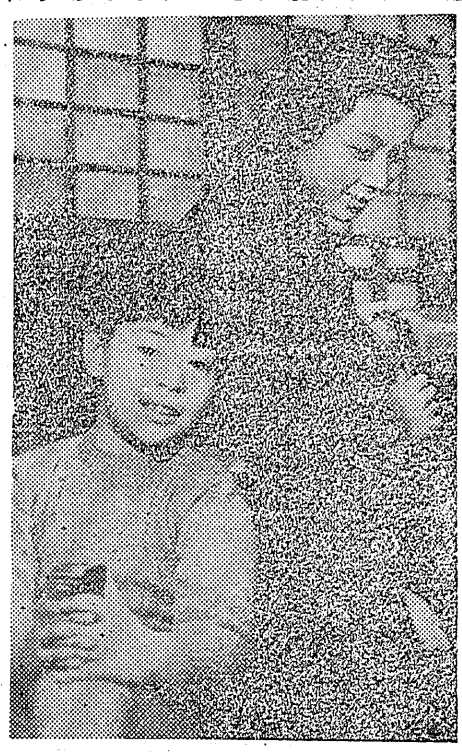


大型電気ライトセル
ランドセル 大特売
コンダカバン
平駅前ぎんざ TEL·499

映画紹介

黄色いからす

解説名匠五所平之助の色彩映画第一回作品淡島千景、久我美子、伊藤雄之助、殿楽幸嗣、田中絹代の五大スターの顔合せの問題作である。中国から帰国した父親と十年間をへて再会した若い妻とその子、母親の愛を奪われたと思う子をめぐつて戦争の傷こんにメスを入れる、家庭の悲劇を時情をこめて描こうとするものである。配役は若き妻に淡島千景、父親に伊藤雄之助、子供に名子役殿楽幸嗣、鎌倉彫の女経営者に田中絹代、女教師に久我美子、ほか飯田蝶子、多々良純、中村是好、沼田曜一、安村まさ子らの出演、なお淡島は色彩の現代もの初出演、久我田中、伊藤、殿楽も第一回、五所監督の第一回色彩作品と相まつてするどい社会性のテーマをもつた作品として映画界の話題をよんだ大作である。



物語　村上一郎は十年振りに中国から帰還した。以前の勤務先に戻つたものの会社員生活の遅れを取り戻すのに必死だつた。父の留守中に生まれ母親のマチ子と暮して来た清は、一郎が帰国して一年近くになつても未だ父親に馴染めないでいた。マチ子は隣家の鎌倉彫の店主松本雪子の好意で生活をたてて来たし。一郎が帰つてきた現在も内職として続けているやがて清に妹が生まれた。一郎の愛は赤ン坊にそそがれているように清には思えた。前から清の好きな昆虫や動物のことで父に叱られる。学友と喧嘩して傷をつけたと疑われ防空ごうに入れられると、その上清が懇つていた声原婦子先生は冬休みを前に学校をやめた。

そんな清はマチ子が一郎の世話をやくことにますます反抗的なまなざしを見せるのだつた。マチ子は清の態度を見て心を痛めた。大晦日の前日赤ン坊のお守りをしていた清が赤ン坊のことで学友と喧嘩をはじめ乳母車の赤ン坊をひつくり返しまふたに怪我をさせてしまつた。一郎は勿論、マチ子にまで叱られ一郎にかくして育てていたカラスまで一郎に捨てられてしまつた。清は父の悪口を書き残して大晦日の朝、家出をしてしまつた一郎もマチ子も松本さんも必死になつて探したが清の行方は知れない。夜になつてさまよい歩いたあげ句の清は、松本さんの物置に発見された。マチ子と一郎は清の悲しみが、かくまで深いことを知つてりつ然とする思いだつた。この事件の原因を親として改めて反省するのだつた

…◇スタッフ◇…

製作……加賀二郎
監督……五所平之助
脚本……館岡鎌之助
音楽……芥川也寸志

…◇キャスト◇…

吉田マチ子……淡島千景
夫一郎……伊藤雄之助
息子清……殿楽幸嗣
松本雪子……田中絹代
声原婦子……久我美子
秋月課長……多々良純
岡本……中村是好
先生……沼田曜一

今晩のラジオ

◆NHK（第二）

午前10時　子供の時間
午前11時　次郎物語
午前11時30分　スポーツ便り
午前11時45分　民謡のしおり
午後0時　録音ニュース
午後0時15分　三つの歌
午後0時30分　お父さんはお人好し
午後0時45分　私はだれでしょう
午後1時　ニュース解説
午後1時15分　歌謡劇
午後1時45分　民謡を紡ねて
午後2時　街頭録音

◆ラジオ福島

午前11時　トニーの童話
午前11時30分　赤胴鈴之助
午後0時　永選に答えず
午後0時10分　録音ニュース
午後0時15分　人情夜話
午後0時45分　落語
午後1時　幸運アベック劇場
午後1時30分　花形歌手歌う遊覧船
午後2時　ダンセット映画劇場
午後2時45分　コロムビアアワー
午後3時　名作アルバム
午後3時30分　夜の案内
午後3時45分　夜の調べ
午後4時　右門捕物帳
午後4時30分　時事解説
午後5時　謎の紫頭巾

今晩の映画

▼東映劇場　十九日マデ
鮮血の晴着

▼世界館　十九日マデ
米

▼民劇　十九日マデ
この二人に幸あれ
山と川のある町

▼ひかり座　十八日マデ
赤い風船
首輪のない犬
沈黙の世界

▼聚楽館　二十日マデ
底抜け艦隊
壮烈カイバー銃隊

▼平館　十九日マデ
正義派
炎の氷河

山田農協で部落懇談会

勿来市山田農業協同組合（組合長岡田一夫氏）では農協強化の一端として十八日から十二日間左記日程により午後六時から農協財源の内容、春肥についての部落懇談会を開く◇十八日上山田小学校◇十九日山田公民館◇二十日組合長宅◇二十一、二十二日大谷分校◇二十五日磐事実行組合長宅◇二十六日石名坊宅◇二十七日坂本氏宅◇二十八日根本氏宅◇二十九日富津氏宅◇四月一日本郷理事宅◇二日大津氏宅。

笛の詩

23

海鳥の章

6

えと文　谷田部風太郎

クラゲがゆらゆらと泳いでいた

船は、オロツコ岩を巡つて、アバツテウシ岩の横に出た。

（あれが、オロツコ岩。あれがアバツテウシ岩。明日か明後日あの辺に行つて見ましようか。面白い伝説も御座居ますのよ。）

初めて来た時、栄子が船の上でそんな事を云つたのを、テツキの上で啓介は、帰るいまになつて思い出した。

（どうして俺は、あんなにふさぎ通したのだろう……。）

啓介は、何か満足しきれないウトロの港との別れに、栄子の好意をふみにじつた自分の心を自責すると共に、栄子に、済まない気がしてならなかつたのである。テツキに立つている啓介の頭上を、海鳥が羽音をたてて飛んだ。

「おや？」

船が丁度、アバツテウシ岩を迂廻している時、啓介の眼にふとアバツテウシの岩の上に、ぽつんと立つている人影が映つたのである。

「栄子さんだ！……」

それは、確かにワンピース姿の栄子であつた。栄子は立つたまま、じつと真白い船を見つめていた。浜風にみだれる黒髪もそのままに、テツキの啓介を見つめていた。

「栄子さんだ……」

啓介の心にふんわりと、忘れていた人への愛情が呼びもどされていた。

突然啓介は、運転室へ走り込んで行つた。

「えつ……。」

ハンドルを握つて、前方を見つめていた運転士が、驚いてふり返つた。

「お願いだから、もう一度港へ着けてくれ。」

運転士はじろりと啓介を見廻わしてから、又先程と同じ様に前方に眼をやつて言つた。

「お忘れものでしたら、次の荷物船に連絡しますよ」

「忘れものじやあない。僕は降りるんだ」

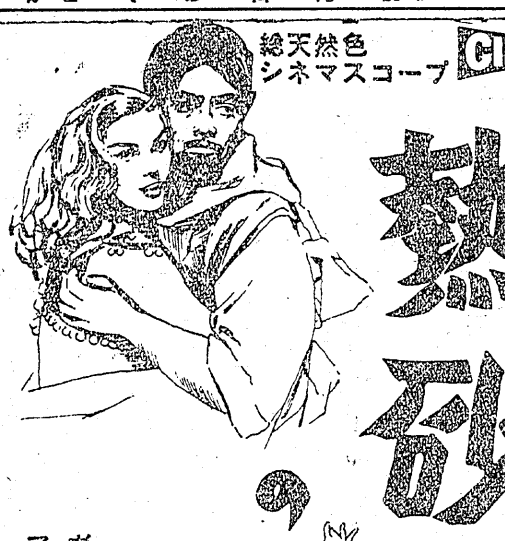
「…？。少し御無理です。この船は時間で動いています」

「何とか、……何とかしてくれないか。」運転士は、もう一度ふり返つて、油臭い船員帽を左手で一寸とあみだに上げながら答えた。

（つづく）

中華
……御商談に……
……御会合に……
……是非御利用の程……
亞壽夕
平市紅小路　TEL 245

クリーニング
洗張・防水
小松崎
平館前　電1343



楽しいひな祭が
近づきました
初節句のお支度は
品揃いのよい
特選ひな人形陳列
太丸屋
平3 TEL23

食肉の季節です……
良品廉売の定評ある……
緑屋の牛豚肉を
本店　平市三一丁目
支店　平駅前甲陽館隣り　電五九番
電七九四番

商道堅実の店
秋山時計店
平市駅前　TEL 981

若ひな鳥料理
自家飼育春ひなが食べ頃となりました
春の甘い　みつまめ
爽やかな　ソフトクリーム
「女子従業員　お食事の通勤募集」デパート　おとを
平市中央通り　電六六・二三五